



歌に気持ちをのせて ～卒業式練習～

今日は二十四節気の一つの啓蟄（けいちつ）。「啓」は「開く」，「蟄」は虫などが土中にかくれ閉じこもる意味で，「啓蟄」とは「冬籠りで土中に隠れていた虫が戸を啓いて地上に這い出る」という意味です。春はもうすぐそこまで来ています。春は別れの季節でもあります，学校では卒業式に向けて，全校での練習が始まりました。

今年は，全校の歌練習に鈴木真澄先生をお招きして，先週の3日間歌唱指導をしていただきました。鈴木真澄先生は，教諭として6年，教頭として3年，そして校長として4年の計13年間，大曲西中に勤務された方なので，保護者の皆さんの中にもご存知の方が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。在職中は，大曲中の合唱部の指導をされ全国大会にも出場された経験があるように，合唱指導に大変力のある方です。その鈴木真澄先生からご指導いただいたことは，子どもたちにとってはもちろん，私たち職員にとっても大変よい勉強の機会となりました。



鈴木真澄先生の熱血指導！



真剣に歌っています

歌詞の意味を考え気持ちを乗せて歌うことの大切さ，言葉一つ一つを大切に丁寧に発声することなどを指導していただき，子どもたちの歌も以前よりもぐんと上達しました。卒業式本番でも，言葉を大切に，その歌詞の意味を考え，気持ちを込めて歌ってくれることと思います。

また，呼びかけの練習も本格的に始まりました。卒業生は，これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを込めて，在校生は卒業生に「ありがとう」の気持ちを込めて，一所懸命に自分に割り当てられた台詞を練習しています。

卒業式本番には，気持ちを込めた歌，呼びかけで心から卒業生の門出を祝いたいと思います。

校舎への感謝の気持ちを込めて ～6年奉仕作業～

先週と今週に渡り，6年生が奉仕作業として，6年間お世話になった校舎への感謝の気持ちを込めて，様々なところを片付けたり掃除をしてもらいました。

私（校長）は，理科室の監督でしたが，実験器具を洗ってくれたり，理科準備室の整理整頓をしてもらったりと一所懸命に仕事してくれ，新年度の授業を気持ちよくスタートできる理科室になりました。また，職員室や校長室にも来てくれて，掃除や窓拭き作業をがんばってくれました。学校の様々な所で，気持ちを込めて清掃に打ち込む6年生の姿が見られました。

これまでお世話になった方々や校舎に感謝の気持ちを持ち，その気持ちを行動で表してくれた6年生に感謝！